



GLOBAL MAPPING NEWSLETTER 51

マレーシアにおける ISCGM 非公式会合

梶川 昌三

ISCGM 事務局



マレーシアのクアラルンプールで8月19日～22日に PCGIAP の会議が行われましたが、8月20日に同じ会場で ISCGM 非公式会合が行われ、18名の参加がありました。ISCGM はマレーシア測量地図局の会議開催にかかる手配に感謝します。

ISCGM 非公式会合の目的は、①地球地図の状況を知らせること、②地球地図が直面している問題について検討すること、③参加者から意見を聞くことです。

テイラー委員長のあいさつに続き福島事務局長による報告と議論が行われました。主な報告・議論は次の通りです。

①地球地図・グローバル土地被覆と地球地図・樹木被覆率の2つのラスターデータについて商業利用のデータポリシーを検討中であるという報告に対し、参加者の意見の多くは無償のデータポリシーに同意するものであった。

②地球地図3期の戦略について説明が行われ、事務局長が、次回の ISCGM 会合で新仕様が承認された後、すぐにデータ整備が始まるであろうと述べたが、特に反対意見はなかった。

③地球地図の仕様の変更計画について説明が行われ、出席者に対しこれに興味のある国は是非事務局にコンタクトを取るよう呼びかけがあった。また、テイラー委員長からオーストラリアのグレッグ・スコット氏に対し、ジオサイエンス・オーストラリアのリチャード・ブローズ氏が WG2（仕様）のメンバーとして働いており、引き続きオーストラリアや他の機関の協力をお願いするとの発言があった。

最後に次回（第16回）の ISCGM の会合について、2009年6月の GSDI-11 のロッテルダム、2009年10月の UNRCC-AP のバンコク、2009年5月の UNRCC アメリカのニューヨークの3カ所の候補地があることが説明され、参加者に意見が求められましたが、この場で結論は出ず、場所および期日についてはなるべく早く決定することとしました。



第 14 回アジア太平洋地域 GIS 基盤常置委員会 (PCGIAP) 会合

ジアン・シアホン

PCGIAP 事務局



第 14 回アジア太平洋地域 GIS 基盤常置委員会 (PCGIAP) 会合は 2008 年 8 月 19 日～ 22 日にかけてマレーシア・クアラルンプールにおいて開催されました。マレーシア測量地図局が本会合のホスト役を務めました。本会合は、海外からの 80 名の参加者を含む、25 カ国から約 150 名の代表とオブザーバーの参加を得ました。

開会式では、マレーシア測量地図局ハミド・アリ局長と PCGIAP ピーター・ホランド会長が歓迎の言葉を述べました。そしてマレーシア天然資源環境相のダグラス・ウガー・エンバス閣下が開会の言葉を述べられました。

本会合のプログラムには、PCGIAP-UNFAO アジア太平洋地域土地管理情勢及び問題に関する国際セミナー、PCGIAP-ISO/TC211 アジア太平洋・メタデータ・プロファイルに関する国際ワークショップ、PCGIAP 本会議、同時開催ワーキンググループ・セッション、PCGIAP 理事会会合、地球地図国際運営委員会 (ISCGM) 非公式会合及びマレーシア地理空間データ基盤センター (MaCGDI) へのテクニカル・ツアーが盛り込まれました。

アジア太平洋地域土地管理情勢及び問題に関する国際セミナーでは、UNFAO、UNECE 土地管理ワーキングパーティ、マレーシア、モンゴル、カンボジア、フィジー、フィリピン、ニュージーランド、韓国、イラン、タイ、ベトナム及びオーストラリアの招待講演者が発表し、土地管理分野での全球・地域・国家の活動・業務及び利用について意見交換を行いました。

アジア太平洋・メタデータ・プロファイル国際ワー

クシヨップでは、地域の ISO メタデータ・プロファイル、ANZLIC ISO メタデータ・プロファイル、国連地理情報 WG (UNGIWG) ISO メタデータ・プロファイル、ISO メタデータ標準実施のための FAO ジオネットワーク・オープンソース・ソフトウェア及び PCGIAP メタデータ・プロファイル調査兼それに伴うアジア太平洋地域 ISO メタデータ・プロファイル案に関し、招待発表と審議が行われました。

PCGIAP 本会議では、2007 年 6 月 12 日～ 15 日の韓国・ソウルにおける第 13 回 PCGIAP 会合以降の活動とワークプランの進捗が、それぞれ執行部とワーキング・グループレベルで報告されました。また、GSDI 協会、ISCGM、FIG 及び FAO/SALB プロジェクトなど、関係機関の報告が行われました。ブン川 (Wenchuan) 地震のための緊急地図作成に関する国別報告が中国國家測繪局により行われ、災害対応での国家地図作成機関の貴重な役割が示され、参加者は大きな刺激を受けました。同時開催ワーキンググループ・セッションでは来年の各部門の作業計画の審議と見直しが行われました。

本会合は 5 件の決議を採択し、成功裡に終了しました。今後の PCGIAP 会合は暫定的に以下のとおり開催される予定です。

- ・ PCGIAP 理事会会合、
2009 年 5 月 19 日～ 20 日、中国・西安
- ・ 第 18 回 UNRCC-AP/ 第 15 回 PCGIAP 会合、
2009 年 10 月 26 日～ 30 日、タイ・バンコク
- ・ GSDI-12 同時開催第 16 回 PCGIAP 会合、
2010 年 10 月、シンガポール。



PCGIAP ピーター・ホランド会長

地球地図第1版（グローバルバージョン）の土地被覆と植生 / 樹木被覆率データ公開

赤塚 太
ISCGM 事務局

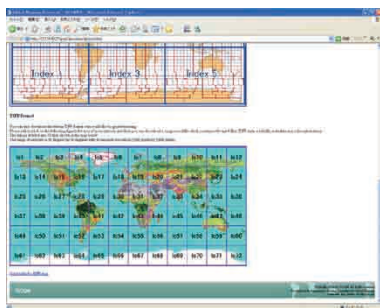
2008年6月5日から、ISCGMWeb サイトでは地球地図第1版（グローバルバージョン）が公開されています。地球地図第1版（グローバルバージョン）は、土地被覆（Land Cover）と植生 / 樹木被覆率（Percent Tree Cover）の2種類のデータとして提供されています。

ISCGM 事務局は、第14回 ISCGM 会合での正式なフォーマットの地球地図に加え、利用者が使いやすいフォーマットによる地球地図を公開する決議をうけ、2008年8月5日に地球地図第1版（グローバルバージョン）のイメージデータを公開しました。

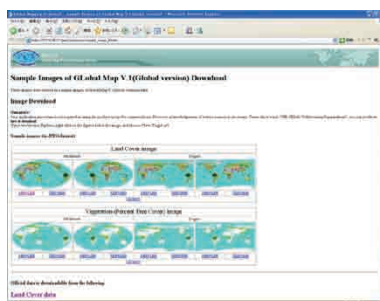
イメージデータは、土地被覆（Land Cover）、植生 / 樹木被覆率（Percent Tree Cover）のデータでそれぞれ作成され、データ形式は TIFF フォーマット

トとなっています。インターネットでのデータ提供サイズを考慮し、全球を72個のタイルに分割して提供しています。また、各 TIFF データにはワールドファイルが付属されており、GIS ソフト等では位置情報を持ったデータとして扱うことが可能です。各 TIFF データの詳細については、ダウンロード時に添付されるメタデータ・ファイルをご覧ください。

イメージデータとは別に挿絵等の利用など誰でも気軽に使用して頂けることを目的としサンプルイメージの公開も行っています。サンプルイメージは、JPEG 形式となっており、全球の土地被覆、植生 / 樹木被覆率をモルワイデ図法と経緯度座標系で提供しています。各ファイルは低画質（画像サイズ 2400 × 1200 (pix)（約 1.5MB））と高画質（7200 × 3600 (pix)（約 11MB））をダウンロードすることができます。



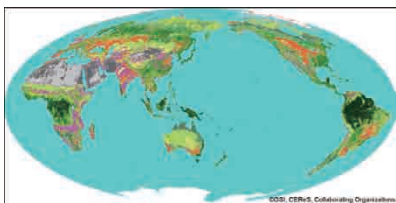
図例1：土地被覆の TIFF フォーマットダウンロードページ



図例3：サンプルイメージのダウンロードページ



図例2：樹木被覆率の TIFF フォーマット表示例 (ve 23)



図例4：全球モルワイデ投影（太平洋中心） / 土地被覆データの JPEG イメージ



図例5：全球モルワイデ投影（大西洋中心） / 樹木被覆率データの JPEG イメージ

ここで紹介したデータのダウンロードは以下の ISCGM Web サイトのダウンロードサイトでログインし、各ダウンロードページで行えます（新規の方はユーザ登録が必要です）。

<http://www.iscgm.org/login.html>

なお、現在の ISCGM Web サイトからは、今回紹介した地球地図第 1 版（グローバルバージョン）のデータのほか、既存の地理情報より作成した地球

地図第 0 版、各国地図作成機関が作成した地球地図第 1 版（各国版）の提供も行っています。

ISCGM 事務局は、これらのデータについても利用者にとって使いやすいデータ提供の作業を進めており、地球地図データをさらに広く活用して頂けるよう、より一層の地球地図の整備及び普及につとめていきます。

マケドニア地球地図データの新地形図への公式利用

バシュキム・イドウリジ教授・博士
マケドニア国立テトヴァ大学



バシュキム・イドウリジ教授

マケドニアの国家地図作成は、独立後 1993 年から 2003 年まで停滞していました。その時期マケドニアの国家地図作成機関のすべての能力は新しい地籍の整備にのみ向けられま

した。国家地図作成が初めて開始されたのは、地球地図プロジェクトと地形図作成の準備作業を行った 2003 年でした。

マケドニアの地球地図データは、マケドニアの独立後の最初の公式な国家地図成果です。また、地球地図プロジェクトの枠組みで公開されたヨーロッパで最初のデータです。

マケドニア共和国で最初の独自の地形図は、国立測地局をマケドニアの国家地図作成機関とし、国際協力機構 (JICA) を日本政府の代理者とする国際協力による「マケドニア共和国国家基本図の確立

のための調査」プロジェクトが成功裡に終了した成果として 2006 年に刊行されました。本プロジェクト期間中に国土の 60% が縮尺 2 万 5 千分の 1 の新しい地形図でデジタルと紙地図の両方で整備されました。必要な地図のタイル番号と名前をより簡単に探し出せるよう、縮尺 2 万 5 千分の 1 のマケドニア地形図のタイリング・システムをもとに、紙の地形図の裏側にマケドニア全土の「シート・インデックス」マップを設けました。

「シート・インデックス」マップには 2 種類のデータ（スペシャル及びバックグラウンド）があります。スペシャル・データはタイリング・システムを表し、バックグラウンドは、地形図の位置をより見やすく明らかにするために、地球地図データから入手しました。バックグラウンドは地球地図マケドニアの 4 レーヤ（3 種類のベクター・レーヤとラスターの標高データ）で構成されます。ベクター・レーヤは境界レーヤを除きすべて用いられました。境界レーヤは「シート・インデックス」マップのバックグラウンドの一部として国境のみが用いられました。

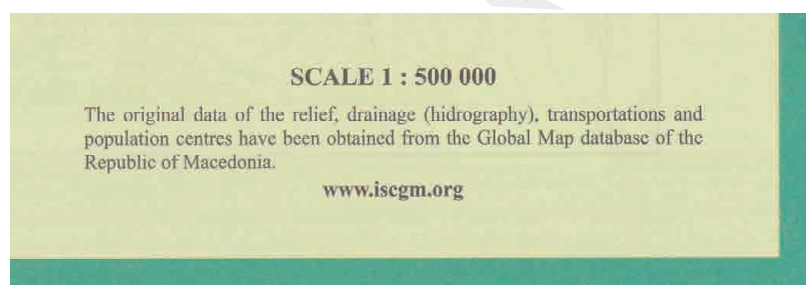
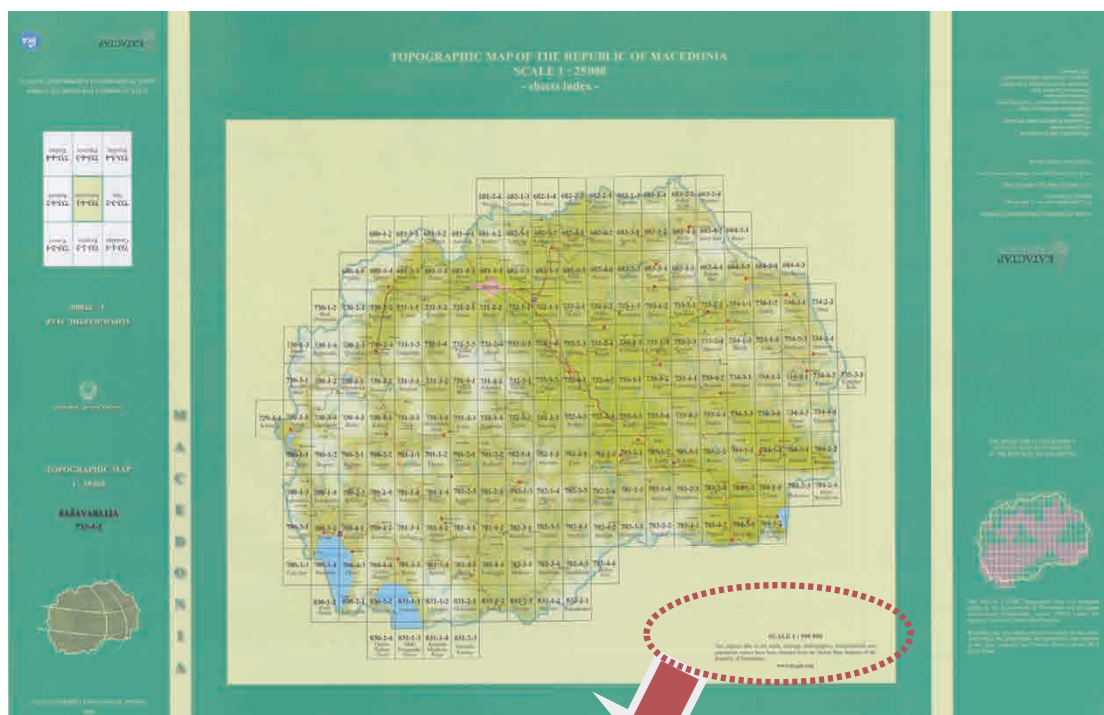
新しい地形図のすべての関係者と顧客が地球地図を身近に感じるようにするために、「シート・インデックス」マップの右下に、インデックス・マップのバックグラウンドとして用いたデータ・ソースを明示するテキストを配置しました。地形、水系、交通及び人口集中域を地球地図マケドニアから入手したことを示し、次に ISCGM のウェブアドレスが記載されています。これは地球地図マケドニア・データのマケドニアでの最初の公式な利用です。

掲載した地図でわかるとおり、2004 年以降に作成されたマケドニアの縮尺 2 万 5 千分の 1 のすべての地形図の背景の中心部分と同じ景色です。おそら

く背景の「シートインデックス・マップ」はすべての利用者の興味を引き、ISCGM のウェブサイトでの地球地図データを探すきっかけとなることでしょう。

前述のテキストにより、マケドニアの縮尺 2 万 5 千分の 1 の新しい紙の地形図の刊行日は、同時にマケドニアの地球地図データの最初の公式な利用日を表すことが容易にわかります。

マケドニアの他の科学、教育、政府、非政府及び民間組織によって地球地図データがさらに公式に利用されることを希望します。



縮尺：50 万分の 1
地形、水系、交通及び人口集中域の原データは、マケドニア共和国の地球地図データベースから入手しました。

www.iscgm.org

事務局から

北海道洞爺湖サミット関連報告

2008 年 G8 サミット議長国である日本では、環境をテーマとしたイベントが各地で開催されました。

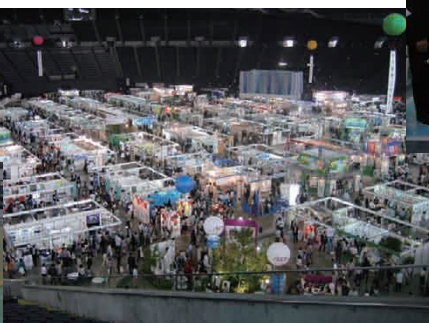
イベントでは、地球地図ブースを設けて、環境問題における地球地図の役割や利活用をパネルやビデオで説明、また、地球地図パンフレットの配布を行いました。特にブース床に敷いた全球樹木被覆図（2m×3m）には多くの人が興味を持たれていました。



北海道洞爺湖サミット記念
環境総合展 2008 (札幌ドーム)



環境技術の拠点地域が点滅する展示品にも
地球地図が使用されました。



地球地図公開と地球地図プロジェクトへの参加

2008 年 6 月 25 日に前回のニュースレターが発行されて以降、シリアの地球地図が 8 月 13 日に公開され、ブルガリアが 9 月 16 日に新たにプロジェクトに参加しました。現在、164 カ国 / 16 地域が地球地図プロジェクトに参加しています。

地球地図及び関連の会議

以下は地球地図及び関連の会合の予定です。関連の会合についての情報を歓迎します。

2008 年

- ・ 10 月 13 日～ 17 日、ドイツ、イエナ
GOFC-GOLD 土地被覆シンポジウム
第 29 回アジアリモートセンシング会議（ACRS）
- ・ 11 月 10 日～ 14 日、スリランカ、コロンボ
第 29 回アジアリモートセンシング会議（ACRS）
- ・ 11 月 26 日～ 30 日、チュニジア、チュニス
GEO - Tunis 2008
- ・ 12 月 4 日～ 5 日、日本、つくば市
第 27 回 ISO/TC211 本会議

2009 年

- ・ 5 月 3 日～ 8 日、イスラエル、エイラト
FIG ワーキング・ウィーク及び第 32 回総会
- ・ 5 月 24 日、米国、ニューヨーク
UNRCC-Americas 会議
- ・ 5 月 28 日～ 29 日、ノルウェー、モルデ
第 28 回 ISO/TC211 本会議
- ・ 6 月 15 日～ 19 日、オランダ、ロッテルダム
GSDI 11 会議
- ・ 10 月 26 日～ 30 日、タイ、バンコク
UNRCC-AP 会議（PCGIAP 同時開催）
- ・ 11 月 15 日～ 22 日、チリ、サンティアゴ
第 24 回国際地図学会議（ICC 2009）

編集・発行：地球地図国際運営委員会事務局

連絡先：〒305 - 0811 茨城県つくば市北郷1番 国土地理院内

Tel: 029 - 864 - 6910 Fax: 029 - 864 - 6923

ホームページ: <http://www.iscgm.org/>

E-mail: sec@iscgm.org